平成２４年度　第１回　地域公共交通会議議事録

日時：平成２４年５月３０日（水）　午後２時～
場所：有田市役所４階市長応接会議室

（出席委員）　成川満、千葉元幸、鈴木孝志（代理：浜野、嶋）、脇村忠次、島﨑正次、伊藤和幸、高垣太郎（随行：上平）、山田裕二、辻本紀之（代理：小門）、飯田好一（代理：堀田）
（欠席委員）　谷口潤、北村修、森下清司、西村芳通、田村政博
（出席事務局職員）吉田市長公室長、石井市長公室参事、河野経営企画課長、野井主任

（議　事）
議案第１号　平成２３年度決算の承認について

議案第２号　平成２５年度地域内フィーダー系統確保維持計画の承認について

１．　開会　（事務局）
ただいまより、平成２４年度第１回有田市地域公共交通会議を開催いたします。本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。
本日は過半数以上の委員さんに出席いただいておりますので、本会議設置要綱第５条第２項により本会が成立いたしましたことをご報告いたします。
それでは、まず始めに成川会長よりご挨拶よろしくお願いいたします。

２．　会長挨拶
有田市デマンドバスの運行につきましては、委員の皆様方にご協議ご検討いただきまして、地域内フィーダー系統確保維持計画に基づいて、計画的かつ効果的な事業実施を行っているところでございます。
皆様のおかげをもちまして、平成２０年度より運行を開始いたしましたデマンドバスも平成２３年度事業を終え、５年目を迎えております。
つきましては、本日、平成２３年度事業決算も含め、今後の当会議の運営や地域公共交通機関のあり方などについて、活発にご協議していただくよう、よろしくお願い申し上げます。

３．　委員紹介（事務局）
新年度となりまして、委員様方におかれましても職場の人事異動等により委員の交代がありました。この度新たに４名の方に委員にご就任いただきましたので、事務局より委員様全員をご紹介させていただきます。

（委員紹介）

委員様におかれましては今後とも当会議の運営にご協力の程よろしくお願い申し上げます。
それでは、会長を議長にお願いし、議事に移らせていただきます。成川議長よろしくお願いします。

４．　議事

（成川議長）
それでは、議事に移らせていただきます。
本日の議事は議案２件となっております。
それでは、議案第１号「平成２３年度決算の承認について」を説明願います。

（事務局説明）
議案第１号「平成２３年度決算の承認について」について説明させていただきます。有田市地域公共交通会議平成 23 年度決算報告ということで、歳入といたしまして、有田市からの負担金 36,420 円となっております。２.補助金、3.の繰越金につきまして、今年度はありませんでしたので０円となっております。また、４．諸収入といたしまして広告料収入で 465,102 円となっております。歳入合計で 501,522 円となっております。続きまして歳出といたしまして、運営費の会議費で 36,000 円、事務費といたしまして 420 円、負担金として広告料収入の 465,102 円を支出しております。歳出合計といたしまして 501,522 円となっております。

ご質問、ご意見等をいただく前に「要綱第１０条第３項」の規定に基づき、前監事・大松監事に監査して頂いておりますので、事務局より報告をさせていただきます。

（監査報告）

（成川議長）
ありがとうございました。監査報告が終わりました。
平成２３年度有田市地域公共交通会議の決算について、ご質問、ご意見等がございませんか。

（事務局）
前回の会議で意見をいただいておりました、補助金などの流れがわかる資料がないかというご意見をいただいていましたので、説明させていただきます。
平成２３年度中の運賃収入が3,161,900円。地域公共交通確保維持改善事業補助金としまして、平成23年4月から9月末まで運行した分が平成23年度の補助金になります。平成23年10月から平成24年の3月末まで運行した分が平成24年度の補助金として入ってくる予定となっております。合計しますと13,619,400円となりまして、支出の運行経費、人件費や燃料等で13,622,778円という支出状況になっていることを報告させていただきます。

（成川議長）
事務局の方から事業者の経理状況ということですよね。先ほど議案で説明いただいたのは会議の決算の説明ということで。因みに、歳出の負担金はどこに負担するものでしょうか。

（事務局）
事業者の中紀バスさんの方へ支出しております。というのは、雑入で上がっております広告料収入につきましては、中紀バスさんの方で各事業所を回っていただいて、その分を中紀バスさんの一部経費に充てるということになっています。一度地域公共交通会議で収入して、中紀バスさんに負担金としてお支払いするという形になっています。

それでは、議案第１号「平成２３年度決算について」ご異議ございませんか。

（異議なし）

（成川議長）
特にご意見等がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。
ご異議がないようですので、議案第１号「平成２３年度決算について」は、承認されました。
それでは、引き続き、議案第２号「平成２５年地域内フィーダー系統確保維持計画の承認について」を説明願います。

（事務局説明）
地域内フィーダー系統確保維持計画の概要を説明いたします。
まず、１．目的と必要性では、この計画を安全で安心して利用できる公共交通機関の存続と市の活性化を図るための計画として、行政のみでなく地域住民及び交通事業者等が一体となって総合的に推進していくものとして位置づけております。
２．定量的な目標・効果では、①公共交通空白地域０地区②年間輸送人員３０，０００人③収支率３５％④住民の満足度６０％と定量的な目標を定めております。また、路線別の目標といたしまして、A ルートについては運行回数を１日４便、１日あたりの乗車人員を４７．８６人以上、B ルートにつきましては運行回数を１日４便、１日あたりの乗車人員を５３．５人以上としております。事業の効果といたしまして、高齢者による交通事故をなくすためマイカーなしでも快適に暮らせる地域づくりを目指すとしています。
３．運行系統の概要及び運行予定者及び４．費用の総額、負担者及び負担額については、表１と表２をご覧ください。この表は H25 年度から H27 年度分の３ヶ年分を添付しておりますが、許可運行系統別の経費についてまとめられたものです。
経費につきましては複雑な計算となっていますが、バスの走行キロ数、キロ当たり標準単価、補助対象経費の限度額などにより要綱で定められた算定を行っています。補助対象経費の１/２と国庫補助上限額のいずれか少ない方の額が国庫補助金内定申請額となりますので、１５，６６０千円が申請額となります。
計画の４．に記載しているとおり、有田市から運行事業者への負担金については、実績運行経費から国庫補助金を差し引いた差額分を負担することとしています。しかし、予算も限られているため、有田市負担額と国庫補助額で不足する額については事業者が負担するということでお願いしたいと考えています。
５．地域の概要では、有田市全域が半島振興法の適用を受けるため全域が補助事業の対象となることが示されています。
９．協議会の開催状況と主な議論では、H19 年４月１日に会議が設置されてからの会議の開催状況と議題等を記載しています。
利用者等の意見の反映状況では、住民代表として連合自治会から３名の委員さんに参画していただいていること、その他意見を聞く体制が整っていることを記載するとともに、必要に応じてアンケート調査等を行う予定であることを記載しています。

（成川議長）
議案第 2 号の平成 25 年度地域内フィーダー系統確保維持計画について、委員の皆様方のご意見を頂戴いたしたいと思います。

（千葉委員）
目標の数字がありますが、空白地域０地区というのはいいと思いますが、目標人員が30,000人となっていますが、前年の目標が32,000人ということで前回よりも減っているということでよろしいでしょうか。

（事務局）
はい。

（千葉委員）
実態数はどれぐらいなんでしょうか。

（事務局）
平成23年度実績で19,827人となっております。

（千葉委員）
19,827人ということで目標値にかなりかけ離れた数字を挙げていいものかどうかと思うのと、収支率35%、住民満足度60%という目標ですが、平成23年度が終わった状況はどのようになっているのでしょうか。

（事務局）
収支率にかんしまして、平成23年度は約30%となっています。住民のバス利便性に対する満足度60％となっていますが、平成23年度はアンケート調査を実施していないので、数値については把握できていません。

（成川議長）
年間輸送人員の話がありましたが、実績20,000人足らずで、目標が大きすぎるようですがこれでいいんでしょうか。

（事務局）
19,827人という実績ですが、5月にダイヤ改正をしまして、運行日数が平成22年度より週に1日少なくなっております。少しずつ減少していますが、日曜・祝日を運休したことにより乗降者数が減少しております。
目標人員を前年度より2,000人減らしたというのはその影響もあります。

（成川議長）
この計画が始まった当初からの目標に向けて努力しているということでしょうか。

（事務局）
目標を著しく下げるのは難しい。当初の見込みが高く設定されていたため、毎年それに近づけるように努力してきています。

（成川議長）
有田市の人口が30,000人余りなので、単純に1人1回利用するというような目標設定になっている気がするのですが。

（事務局）
現在は地域内フィーダー系統の計画で事業を行っていますが、元々国の補助金が3年間でなくなり、その後は補助金なしで運行していけるような体制にするという目標を設定していましたので、目標人員はかなり高い所に設定されていました。ありがたいことに、補助事業を継続して実施していただいているので、同様の計画で進んでいるので若干目標人数を減らしているがかけ離れてしまっているのが実情となっています。

（成川議長）
この会議でいろいろなご意見を頂戴して承認いただいたら、計画を国土交通大臣あてに申請書を提出するということですので、いろいろと国の制度など制約も多いと思いますが、事務局としてこういう申請をしていくという方向性を出しているんだと思います。

（成川議長）
他に平成25年地域内フィーダー系統確保維持計画についてご意見ありませんか。
特にご意見がなければ承認ということでよろしいでしょうか。
それでは、その他について事務局より説明願います。

５．その他

（事務局説明）
先日書面議決をいただく文書を 2 度送らせていただきましたが、それについて説明させていただきます。
1 つ目の平成２３年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価についてですが、毎年度事業終了後、事業評価を行うこととなっており、有田市としましても事業評価を実施しました。概要といたしまして、有田市においてコミュニティバスを運行しましたが、計画どおり事業は適切に実施されたと考えております。デマンドバスは 8 系統運行されていますが、全体を通して、5 月に路線変更をしたこと、それと同時に日曜・祝日を運休としたことによる利用者の減少が見られました。また運賃収入の減少につきましても、利用者の減少が原因となっていると考えられます。
今後の改善点としましては、新たな路線の周知徹底を図るとともに、利用者に対するアンケートの実施などを検討していきたいと考えております。
以上のとおり事業評価を行った結果について、書面議決を行いみなさまのご承認を得ましたのでご報告させていただきます。

次に２つ目の平成 24 年度有田市地域内フィーダー系統確保維持計画の変更認定申請についてですが、平成 24 年 4 月 16 日の地域公共交通確保維持改善事業の補助金交付要綱の改正がありました。改正内容としましては、補助金の算定に係る計算式の変更でありますが、その計算式の中で従来は補助対象経費を算出する際に 9/20 という数値をかけて補助対象経費を算出しておりましたが、今回の要綱改正によりその要件が撤廃されました。そのため、有田市においては既に内示されていた補助金の金額 6,949 千円から 6,202 千円増加して 13,151 千円となることとなりました。そのための変更認定申請について書面議決を行い、みなさまのご承認を得ましたのでご報告させていただきます。
ありがとうございました。
以上です。

（成川議長）
ご質問等ございませんか。

事務局から他に何かありませんか。

事務局からは特にないようですので、委員さんから他に何かございませんか。
事業者の中紀バスさんどうぞ。

（高垣委員）
運行事業委託をしていただいている中紀バスの高垣です。日頃は大変お世話になりありがとうございます。この場をお借りしまして、少し報告をさせていただきます。
先日から高速バスの大きな事故が世間にはございまして、それに伴い多くの方がバスの運行に対してご心配されています。そんな中で、当社の取組みといたしまして少しご報告させていただきます。全く高速バスと巡回バスは別物でございますが、お客さまに乗車いただいてハンドルを握って運転をしているというところは共通でございますので、まず私どもは昨年の 12 月でございますが国土交通省様のご推薦でバス協会主催の貸し切りバス認定制度という認定制度を取得することができました。
それに伴いまして、自動車事故対策機構様の直接のコンサルティング指導という形

で指導を受け、もちろんその指導の中にこのデマンドバスの専属ドライバーである喜多・大岩という２名も参加いたしまして、その中の自分たちでのディスカッションの中では、巡回バスでのヒヤリハットの報告、それから危険個所の抜粋等について報告し、毎日走っているところでありますが、危ない所やこういうことがあったということを報告また研修を去年度行いました。おかげさまで去年度は大きな事故もなくきましたが、今年度も自動車事故対策機構様の研修を受けるという計画で、全てのドライバーに対しても指導していく予定でございます。個人的にはドライバーのヒアリングもさせていただきまして、心の余裕が持てるように新年度から福利厚生面で少し充実させていただくことになりました。そういったことで、より一層気を引き締めて安全運行に努めてまいりますので地域、警察また監督官庁の皆様方に今後ともご指導の程よろしくお願いしたいと思います。簡単な報告で大変失礼いたしました。

（成川議長）

ありがとうございます。
少し前ですが、「陸援隊」ですか、痛ましい大変大きな事故がありましたが、交通安全に対して、バスは大丈夫かなと思いましたが、高速バスと地域の巡回バスとは違いますが、バスには違いないので、他山の石といたしまして安全・安心の努力をより一層お願いしたいと思います。

他にございませんか。無いようですので、これで平成２４年度第１回有田市地域公共交通会議を終了させていただきます。皆様お忙しい中ご出席いただき、また本会の進行にご協力いただき、ありがとうございました。

５．　閉会